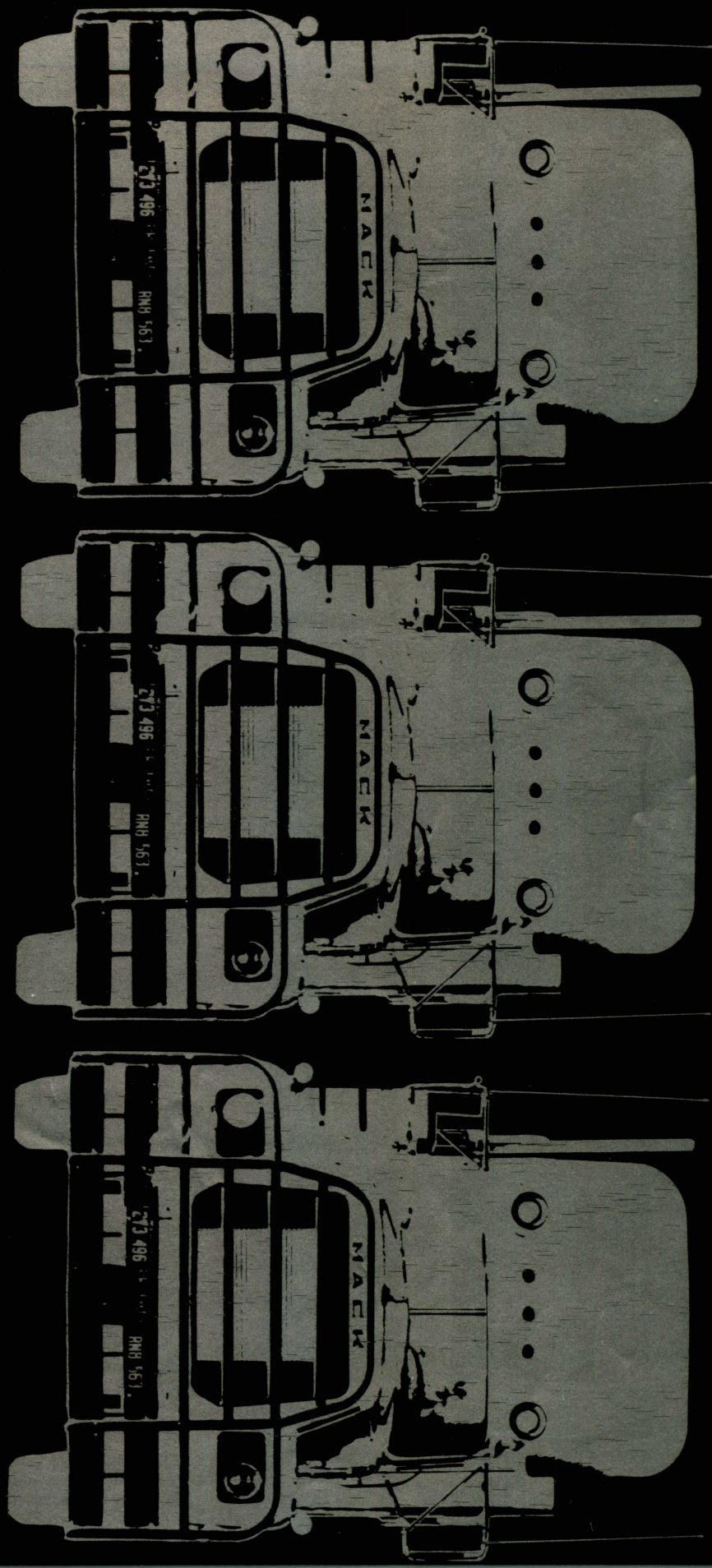
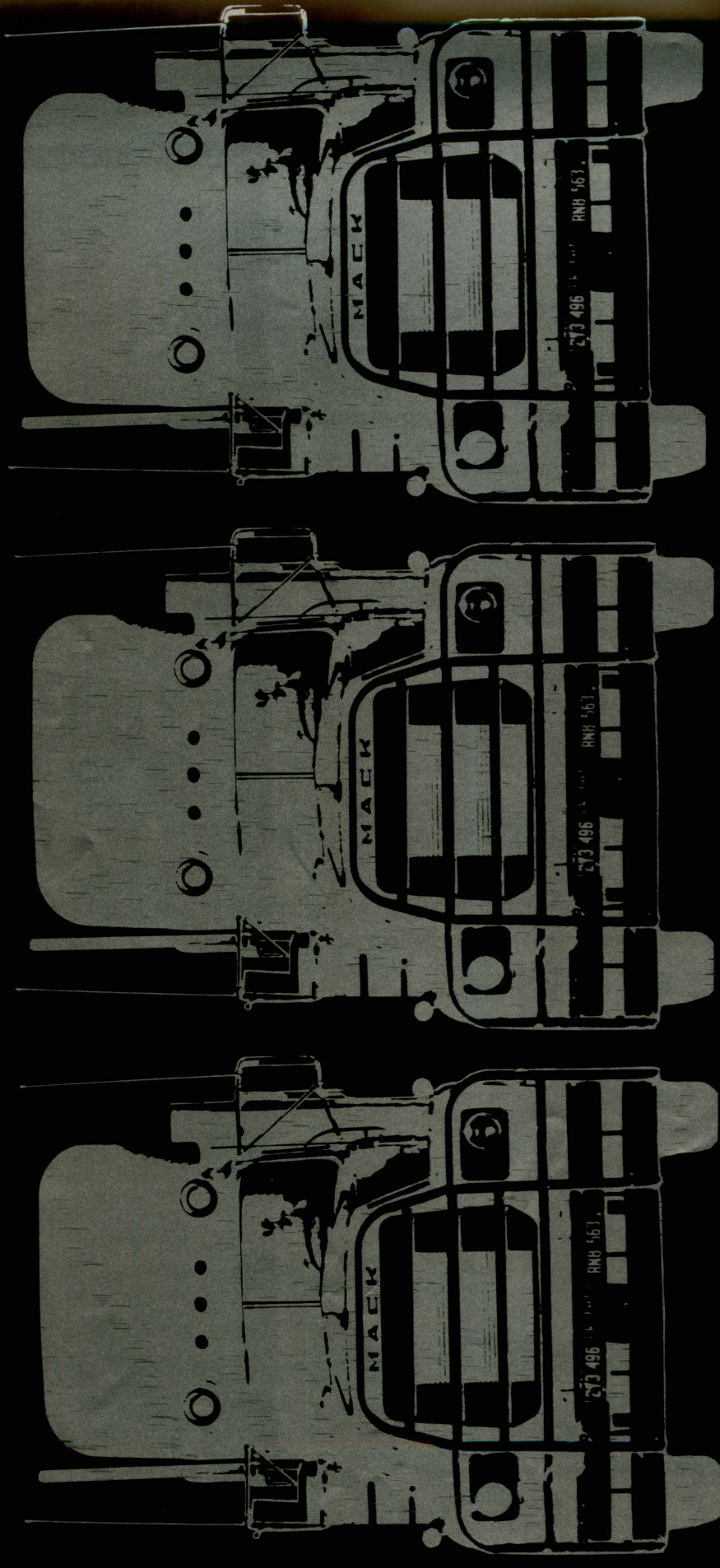


■サム・ペキンパー監督

コンボイ

動き出した
もう誰にも俺たちを止める
力はない!

巨大な18輪トラックが100台
コンボイを組んでやっける!
コンボイとは「新団塊」のことである



a SAM PECKINPAH Film 4チャンネル超ステレオ音響

CONVOY

クリス・クリストファージン/アリ・マックグロー

バート・ヤング/アーネスト・ボーグダイン

製作指揮マイケル・デイリー/バリー・スワイキンズ

脚本B・W・L・ノートン/製作ロバート・M・シヤーマン

テクニカラー●パナビジョン●アメリカ映画

■日本ヘラルド映画創立20周年記念作品

(原作本 生島治郎訳・日本ヘラルド映画出版局刊)

主題歌サントラ盤CONVOY 唄C・W・マッコール(オリジナルコード)

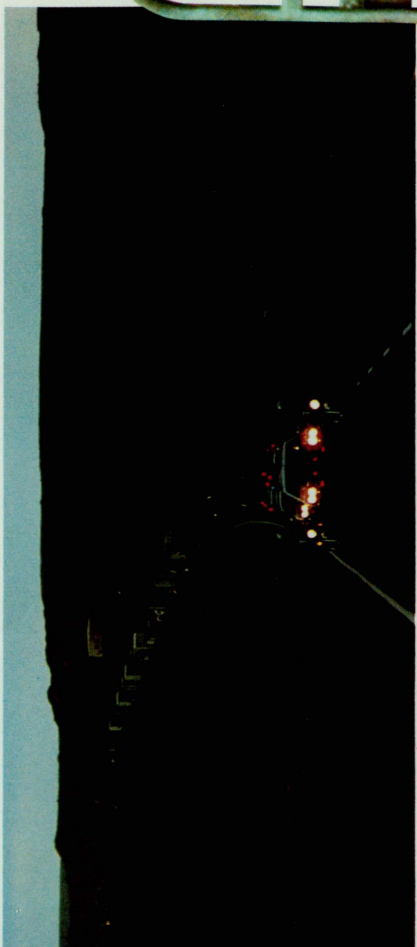
主題曲クラウンレコード

Herald

EMI
Music Company
© EMI Film Distributors Limited

＜テクニカラー＞アメリカ映画 バセジョン・サム・ベキンバー監督作品
脚本B・W・L・ノートン◆製作ロバート・M・シャーマン
EMI超特作◆日本ヘラルド映画＜創立20周年＞記念作品

コンボイ



演出中の
サム・ベキンバー監督

トラック。100台を超すコンボイを率いるのは通称「ラバー・ダック(ゴムのあひる)」と呼ばれる男だ。彼らに敵対する保安官マイルは、ストップ命令をだすが止まらない。逆に見せしめのために保安官事務所のある小さな町を襲った。町は瞬時に消滅、ついに軍隊まで出動する。この頃にはテレビやラジオでニュースされるが、一般市民はコンボイの味方。州軍、陸軍、警察、連邦警察などがコンボイを阻止しようと、州境の河にかかる橋に待ちかまえていた。が「ラバー・ダック」は一般市民の歓声の中、そこに突っ込んでいった……。

ズバリ揃った豪華スタッフ・キャスト!

監督はリアリズムな映像で「男の魅力」「暴力の美学」を描いておなじみの「ゲッタウェイ」の巨匠サム・ベキンバー。製作はロバート・M・シャーマン、脚本にB・W・L・ノートン。

主演のコンボイのリーダー「ラバー・ダック」には、シンガー・ソング・ライターとしても有名な「スター誕生」のクリス・クリストファーソン。彼に心を寄せる洗練された美貌の写真ジャーナリストに「ゲッタウェイ」以来6年ぶり映画出演のアリ・マックグロー。タフで人がいいトラッカー「ビッグ・ベン」にいまや最高に乗っている「ロッキー」のバート・ヤング。トラック野郎と敵対する保安官に名優アーネスト・ボーグナイン、他にマッジ・シンクレア、フランキー・アジエイといったベキンバー好みの役者が一堂に会している。

またベキンバーを師とあおぐ人気俳優ジェームス・コバーンが助監督をつとめているのも話題。

全世界注目の超大作「コンボイ」がやってくる!

全長20m、重量20トン、16段ギア、総排気量17000CCという巨大な18輪トラック100台が「コンボイ(船団)」を組んで大暴走する。

製作費120万ドルの巨費を投じたこの映画は、まさに群を抜くスケール。縦横無尽に疾駆するトラックのすさまじいほどの破壊力がスクリーンに炸烈。見る者に度肝を抜かせ、圧倒されるような興奮を呼ぶことは必至。

熱砂のなかに陽炎にゆれながら、しだいに大きくなり、やがて巨大な車体をあらわすコンボイ。耳をつんざく地響き、怒り狂ったコンボイは大音響とともに町々を踏みつぶし、警察も軍隊も蹴ちらしながら、デイスールの吐きだす黒煙を残してハイルウェイを突っ走る。彼らが止るのはいつか……。

愛と命を賭けた「コンボイ」看者たち

アメリカの孤独なハイウェイを凄いてんを駆って行く誇り高いトラック野郎たち。彼らはいつものは一匹狼。しかしある日、彼らを敵とみなし、違反摘発する警察と対立、それに非現実的なスピード制限を行なった政府への抗議が加わって、ついには巨大なトラックを使っての暴力行使となった。CBラジオの情報交換によって土ぼこりをあげながら続々と集結するト



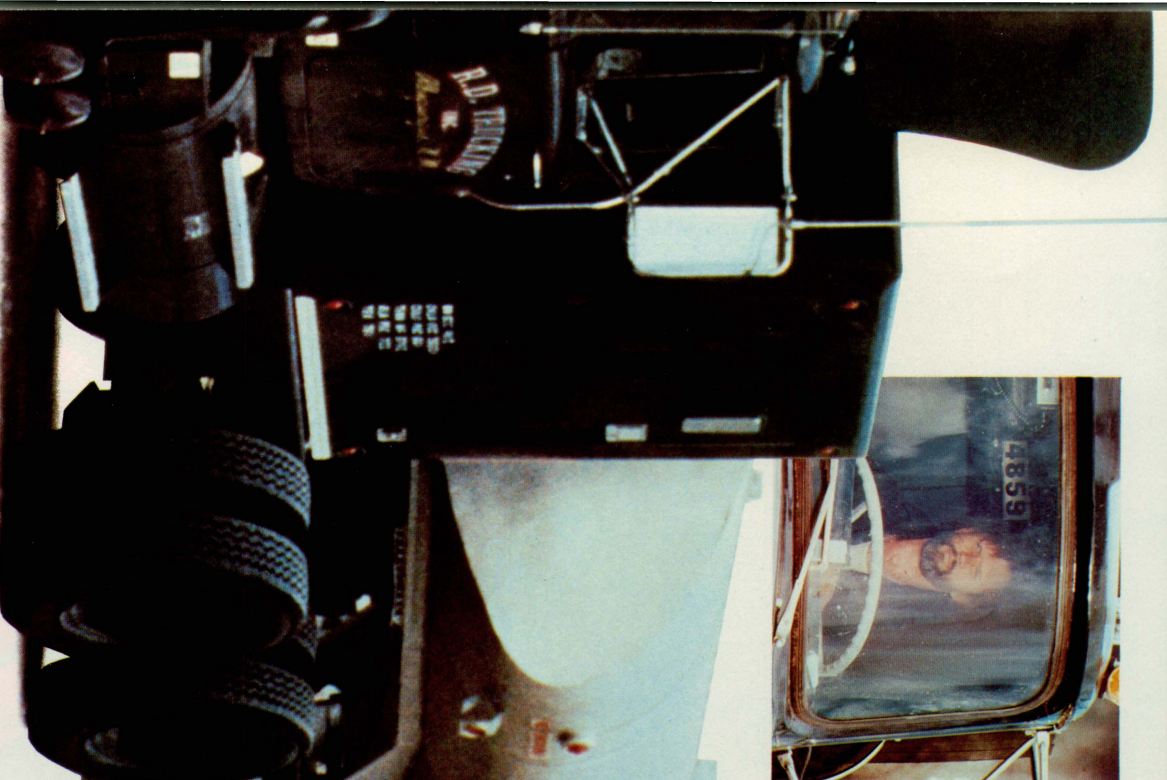
KRIS KRISTOFFERSON

ALI MacGRAW

BURT YOUNG

ERNEST BORGNINE

CONVOY



6月10日

(土)より地軸を揺がす世紀の大ロードショー!

渋谷パレテオN (407)
7219

歌舞伎町 新宿ミラノ座 (202)
1189

不夜城 ショウ 上野東急 (831)
6620